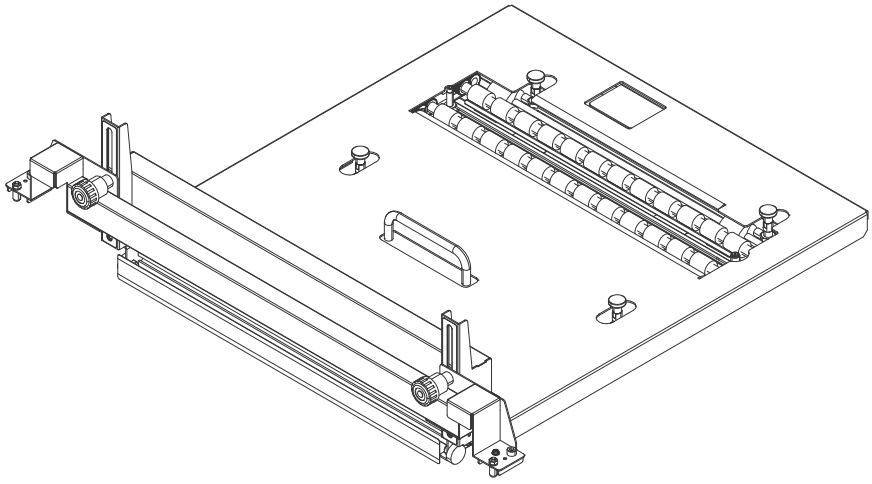
MUTOH

取扱説明書

ロータリーユニット
IJ-RTU-04



安全上のご注意 2
開梱 5
ロータリーユニットの取り付け 11
ノズルチェックとクリーニング 20
メディアのセット 24
基本的な印刷方法 33
ロータリーユニットの取り外し 38
メンテナンス 43
メッセージとエラーメッセージ 47
トラブルシューティング 50
改訂履歴 55
お問い合わせ先 55

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- PDF の目次や参照のリンク先に移動した後、元の場所には「Alt+←」キーを押すと戻ることができます。

ROTAUT61PJ-A-01

安全上のご注意

安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。
各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。

■ 指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
⚠ 注意	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■ その他のマーク表示

Important!	とくに注意し、お守りいただきたい内容を示しています。
Note	補足説明や参考情報を示しています。
➔	関連した内容の参照先を示しています。

保管について

警告

本製品を以下のような場所に保管しないでください。製品が頭上に落下したり、踏みつけて転倒するおそれがあります。

- 不安定な台、または高さのある台の上
- 傾いている場所
- 人通りがある床の上

注意

本製品を以下のような場所に保管しないでください。製品が破損し、使用できなくなります。

- 高温・多湿、直射日光があたる場所
- ホコリの多い場所
- 他の機械等の振動が伝わる場所

製品の取り扱いについて

注意

本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。
製品が破損し、使用できなくなります。

- **本製品を持ち運ぶ場合は、かならず製品のハンドルを持ち、アタッチメント部や製品側面などの頑丈な場所に手を添えてください。**
  ローラーやメディア押さえを持つと、製品が破損するおそれがあります。
- **製品側面を持つときは、カバー（黒色）だけではなく、かならず本製品のフレーム（銀色）まで手をかけてください。**
  カバーのみに手をかけて本製品を持ち上げると、落下につながるおそれがある他、部品の変形が生じて、印刷品質に影響を与えるおそれがあります。

シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。

塗装を傷める原因となります。

インクと廃液について

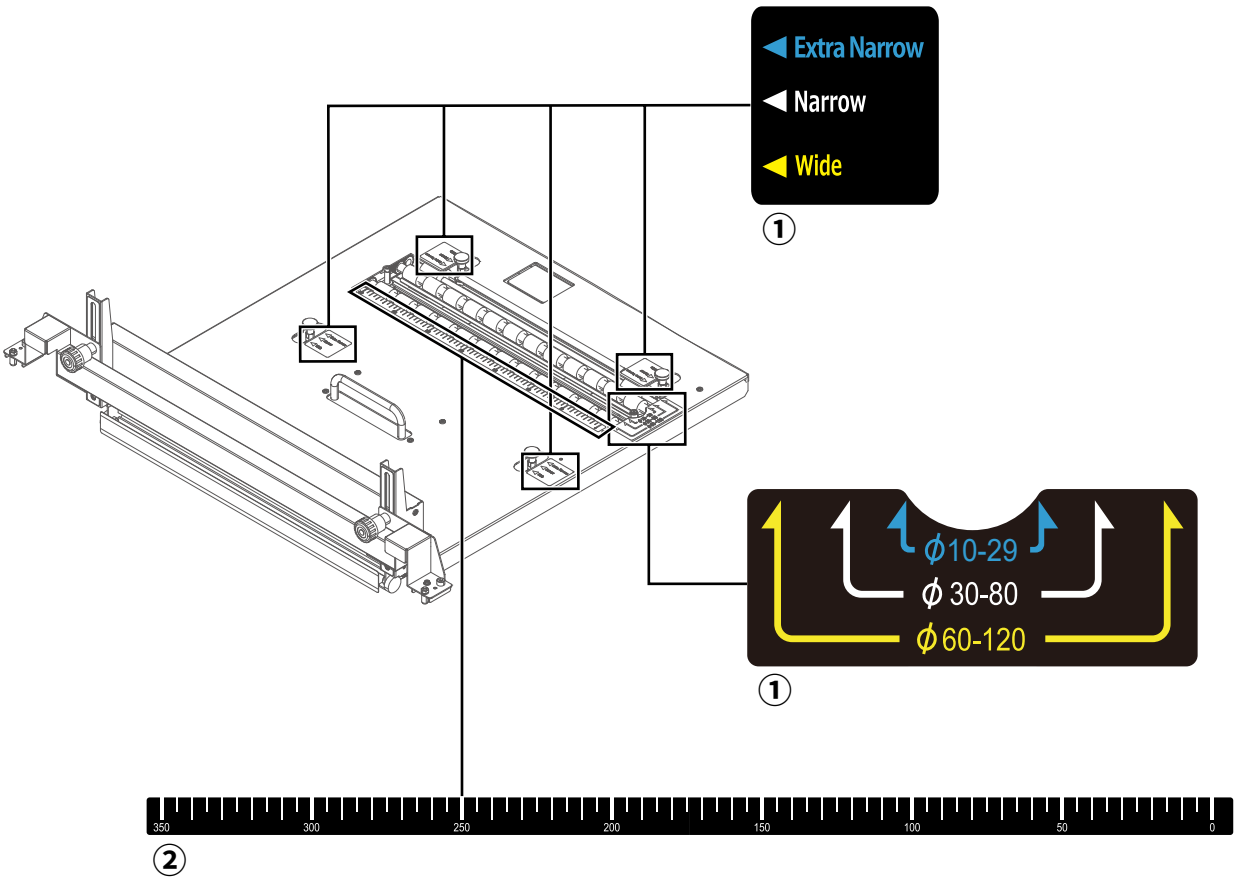
警告

インクや洗浄液、廃液などを取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート（SDS）に詳しく記載されています。これらの液体を取り扱う際は、必ず SDS をよくお読みください。

最新の SDS は、弊社ホームページ（https://www.mutoh.co.jp/）からダウンロードしてください。

操作ラベル

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



① 調整位置ラベル

② メモリラベル：メディアセット原点（0）から、5mm ごとに目盛りがあります。

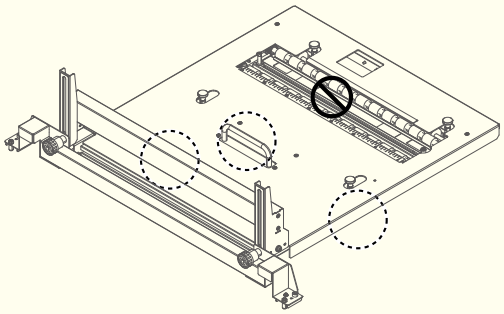
開梱

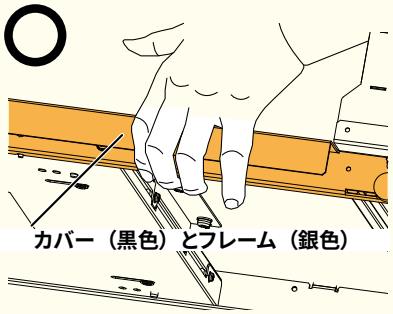
本体の開梱

同梱品に不足がないかどうかを確認してください。

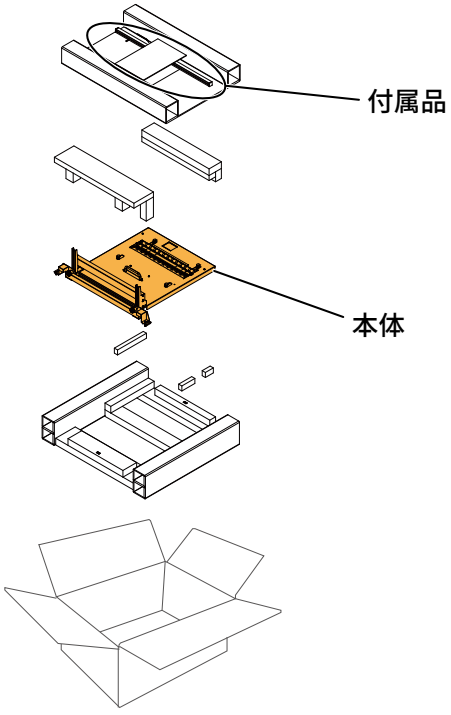
⚠注意

- **本製品を持ち運ぶ場合は、必ず製品のハンドルを持ち、アタッチメント部や製品側面などの頑丈な場所に手を添えてください。**
  ローラーやメディア押さえを持つと、製品が破損するおそれがあります。
- **製品側面を持つときは、カバー（黒色）だけではなく、必ず本製品のフレーム（銀色）まで手をかけてください。**
  カバーのみに手をかけて本製品を持ち上げると、落下につながるおそれがある他、部品の変形が生じて、印刷品質に影響を与えるおそれがあります。

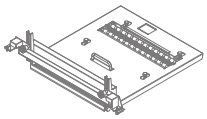
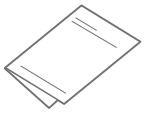
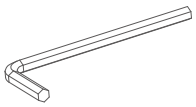
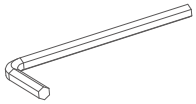
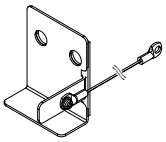




1. 梱包箱を開き、ダンボールやクッション材を取り除き、本体と付属品を取り出します。

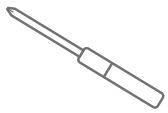


梱包の内容

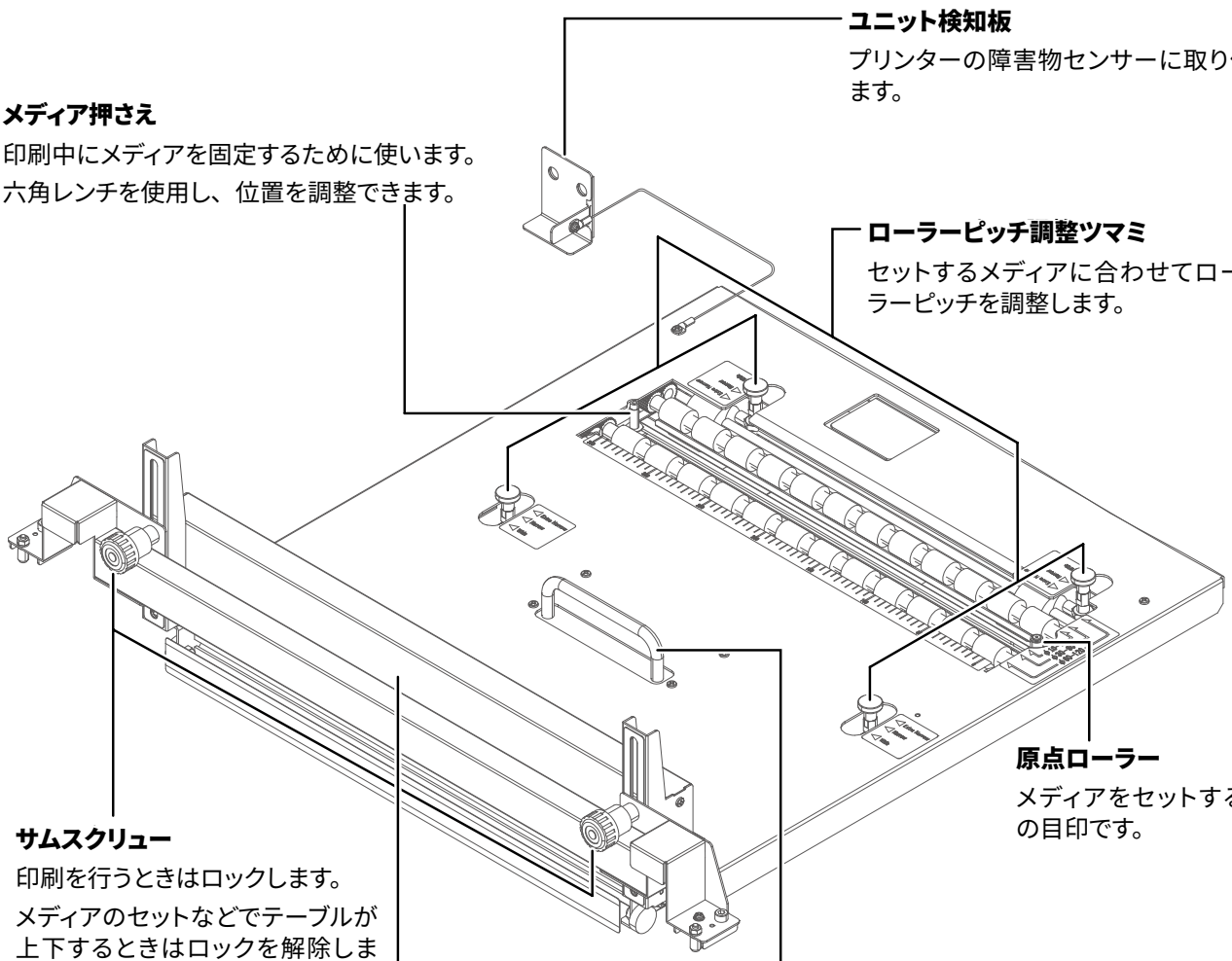
 本体 : 1	 開梱時注意シート : 日 / 英 各 1	 取扱説明書 : 日 / 英 各 1（本書）	 ガイドバー : 1	 六角レンチ（対辺 3）: 1
 六角レンチ（対辺 4）: 1	 ユニット検知版 : 1			

ご用意いただくもの

本製品の取り付けには、付属品以外に次のものが必要です。

 プラスドライバー : 1

各部の名称



*1 ロータリーユニットを取り外した、または使用しない場合は、ユニット検知板をユニットに固定してください。（マグネットで貼り付きます）。

使用環境条件

本製品を使用するときは、プリンター本体が正しく動作する条件下で使用してください。

➔ **XPJ-661UF-P「スタートアップガイド」**

環境条件 （プリンター本体の使用環境条件に準ずる）	動作環境	温度：20 °C～ 32 °C、湿度：40% ～ 60% 結露なきこと
	作画精度保証範囲	温度：22 °C～ 30 °C、湿度：40% ～ 60% 結露なきこと
	保存環境	温度：-20 °C～ 60 °C、湿度 : 20% ～ 80%

使用できるメディアの条件

本製品は、以下のメディアを使用できます。

使用可能メディア

形状	円筒形状のリジットメディア* * 円筒度：0.5 以下（画質を保証するものではありません）
直径	Φ 10 mm ～Φ 120 mm
対応幅	30 mm ～ 360 mm
最大重量	1.0 kg

⚠警告

食品、および飲料水などの容器や包装材への印刷は行わないでください。また、容器や包装材以外でも、直接口に触れる箇所、またはその可能性がある箇所への印刷は行わないでください。

Important!

プリンターのユーザ定義で設定可能な最小メディア幅と最小メディア長さは、10 mm × 20 mm です。

それ以下のサイズのメディアに印刷する場合は、インクのはみ出しにご注意ください。付着したインクは UV ランプによって硬化すると、取り除くことができない場合があります。

Note

推奨メディアにつきましては、お買い求めの MUTOH 製品取扱店へご確認ください。

メディア取り扱い上のご注意

メディアを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。以下の注意に従っていただけない場合、本製品の故障につながるおそれがあります。

- **熱に弱いメディアは使用しないでください。**
  UV 光の発する熱でメディアが変形します。
- **UV 光を反射しやすいメディアは、プリントヘッド表面のインクを硬化させるため、製品の動作不良や故障の原因となります。**
  印刷する場合は、印刷範囲外に光が漏れないようにメディア上をマスキングするなどの処置を推奨します。
- **印刷を行う前に、エタノールや市販の消毒用アルコールなどで、メディアの印刷面を拭いてください。**
  印刷面の油分や汚れを取り除くことに加え、静電気帯電の防止にも効果があります。

メディアセット時のご注意

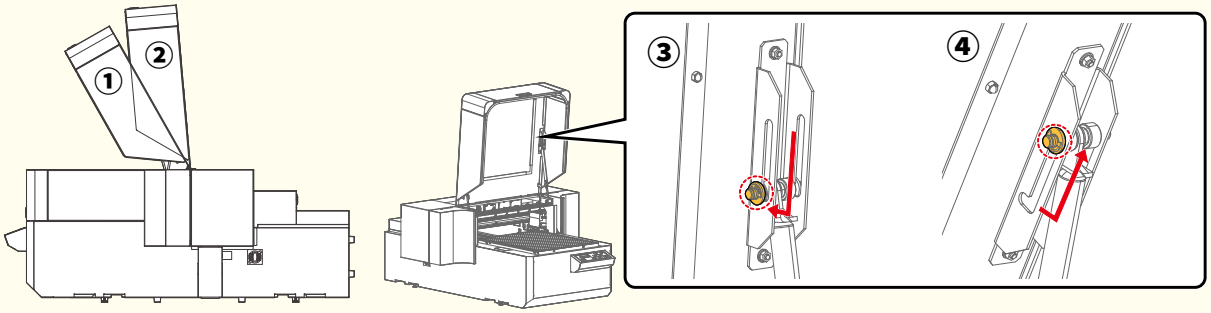
- **メディアをセットするときは、メディアの置き方と入力するメディア情報（直径や幅）に注意してください。**
  メディア情報が正確に入力されていない場合、メディアからはみ出してテーブル上に印刷してしまうおそれがあります。また、画質の低下やミストの発生、プリントヘッドとの衝突につながるおそれがあります。
  メディアの直径は、できるかぎり正確な値を入力してください。お使いになるメディアを実測してから、セットすることをおすすめします。

> **Note**
> **印刷の際の注意事項などは、プリンターの取扱説明書をご確認ください。**

カバーの開閉について

注意

- **フロントカバーには通常位置（①）と全開位置（②）の二段階があります。全開位置はテーブルメンテナンス作業時にのみ使用してください。その他の作業時は通常位置で使用してください。**
- **全開位置で使用する場合は、以下をお守りください。操作が適切でないとフロントカバーが突然閉まり、けがをするおそれがあります。**
  - 全開位置で固定するときは、必ずダンパーをロックする（③）。
  - フロントカバーを閉じる際は、必ずダンパーのロックを解除してから閉じる（④）。

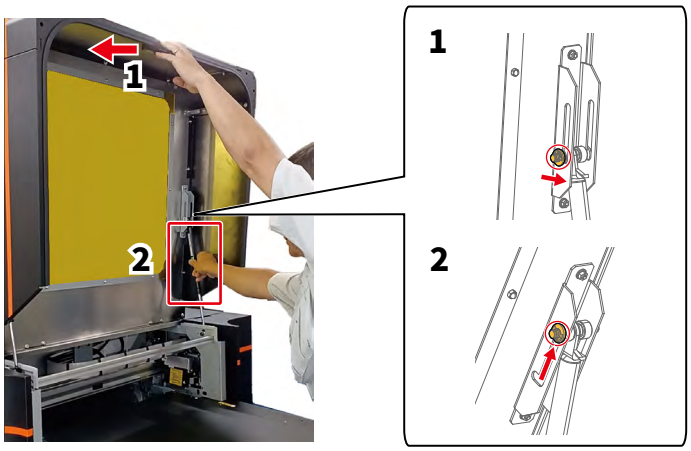


Important!

フロントカバーを全開にした場合、必ずダンパーのロックを解除してからフロントカバーを閉じてください。ダンパーがロックされている状態でフロントカバーを閉じると、破損の原因になります。

ダンパーロックの解除方法

1. フロントカバーを奥側へ押して、ダンパーのロックを解除する。
2. 図の位置でダンパーを持ち、ロックを解除した状態のままフロントカバーを閉じる。



ロータリーユニットの取り付け

Note

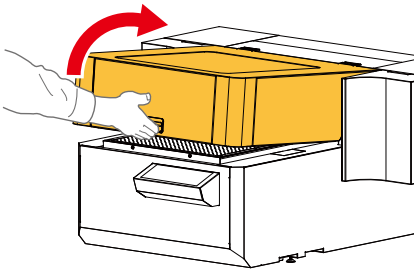
メニューの操作方法については、対象の取扱説明書をご確認ください。

プリンターをロータリーモードにする

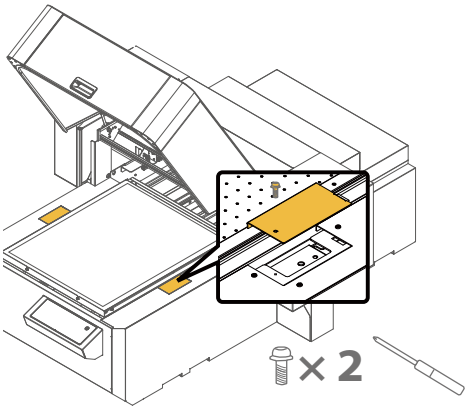
この手順ではプラスドライバーを使用します。市販のドライバーをご用意ください。

1. プリンターの電源がオンになっていることを確認する。

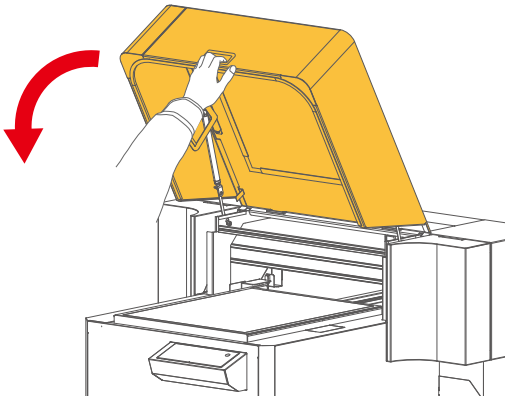
2. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。



3. プラスドライバーでネジを外し、プリンターのアタッチメントカバー（2 個）を取り外す。
   - アタッチメントカバーが取り外しづらい場合は、プリンターをロータリーモードに移行してから取り外してください。
   - 取り外したアタッチメントカバーとネジはなくさないように保管してください。



4. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと閉じる。



5. **[Home]** キーをタップする。

6. 「ロータリーユニット」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

7. **[>]** キーをタップする。

8. 以下が表示されたら、**[Enter]** キーをタップする。



9. **[∧]** / **[∨]** キーで **[カイシ シマスカ？ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。



- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。

10. **[メディア ヲ トリノゾイテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、メディアと治具を取り外し、**[Enter]** キーをタップする。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
- テーブルがロータリーユニット取り付け位置に移動します。

11. **[ロータリーユニット ヲ トリツケテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、ロータリーユニットのプリンターへの取り付けを始めます。



Note

以下のメッセージが表示されているときに **[<]** キーをタップすると、ロータリーモードへの移行をキャンセルすることができます。

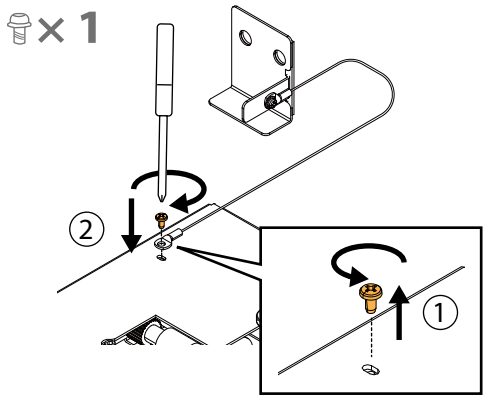
- **[メディア ヲ トリノゾイテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]**
- **[ロータリーユニット ヲ トリツケテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]**

ユニット検知板を取り付ける

この手順ではプラスドライバーを使用します。市販のドライバーをご用意ください。

1. ユニット検知板をロータリーユニットに取り付ける。

付属のネジをプラスドライバーで締めて、ユニット検知板をロータリーユニットに固定します。



プリンターに取り付ける

この手順では、同梱の六角レンチを使用します。

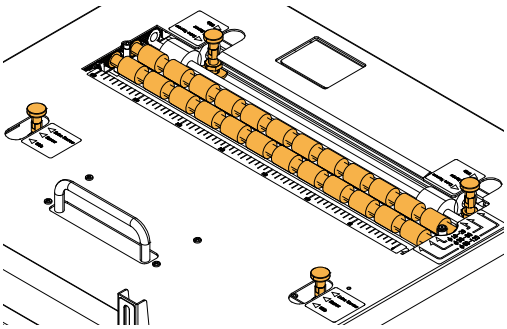
⚠ 注意

- **本製品を持ち運ぶ場合は、必ず製品のハンドルを持ち、アタッチメント部や製品側面などの頑丈な場所に手を添えてください。**
  ローラーやメディア押さえを持つと、製品が破損するおそれがあります。
- **製品側面を持つときは、カバー（黒色）だけではなく、必ず本製品のフレーム（銀色）まで手をかけてください。**
  カバーのみに手をかけて本製品を持ち上げると、落下につながるおそれがある他、部品の変形が生じて、印刷品質に影響を与えるおそれがあります。

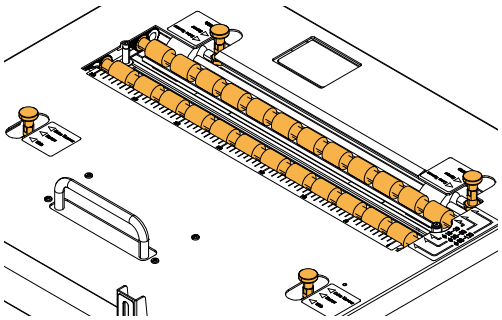
手順

1. 印刷するメディアの直径に合わせて、ロータリーユニットのローラーピッチを調整する。

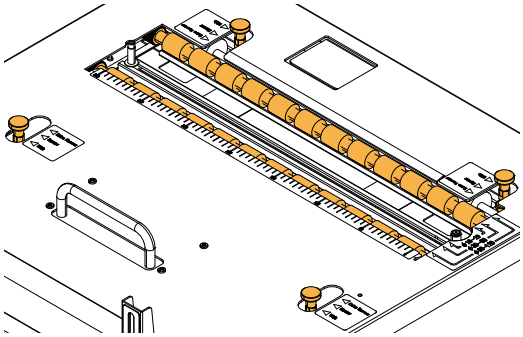
- **Ex Narrow:** Φ 10 mm ～Φ 29 mm
- **Narrow:** Φ 30 mm ～Φ 80 mm
- **Wide:** Φ 60 mm ～Φ 120 mm



< ローラーピッチ：Ex Narrow>



< ローラーピッチ：Narrow>



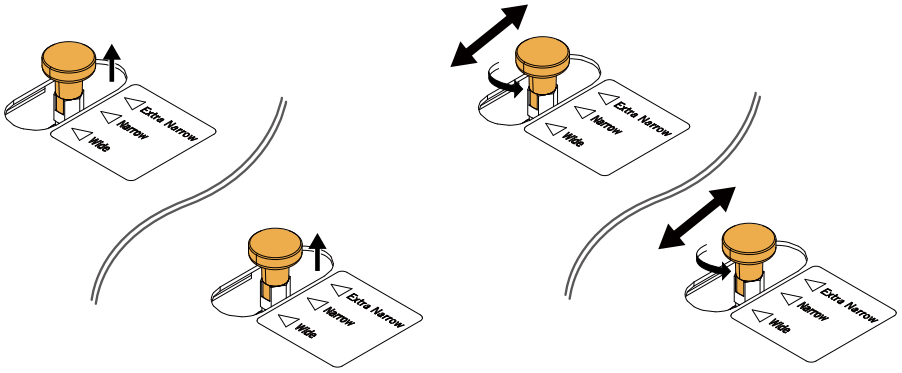
< ローラーピッチ：Wide>

■ ローラーピッチ調整方法

a. ローラーピッチ調整ツマミを引き上げ、90° 回転させてローラーピッチのロックを解除します。

b. ロックが解除された状態でローラーピッチを調整します。

c. 調整が終了したら、ローラーピッチ調整ツマミを回転させ、ロックをしてください。



Important!

ローラーピッチを調整するときは、左右の調整ツマミを同時に平行移動させてください。
片方の調整ツマミだけを動かしたり、左右が傾いた状態で動かしたりすると、ローラーピッチが正常に調整できません。

Note

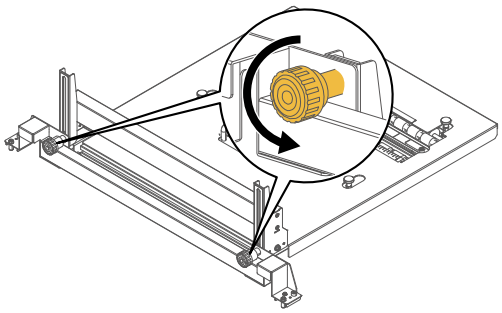
- 調整ツマミの位置は、全て同じ設定（Ex Narrow/ Narrow/ Wide）に統一させてください。統一していない場合、正しく印刷を行うことができません。
- メディアの直径がΦ 60 mm ～Φ 80 mm の場合は、どちらのピッチでも印刷可能ですが、ピッチの広い方が安定した印刷が期待できます。

2. サムスクリューを回転させて、ロックを解除する。

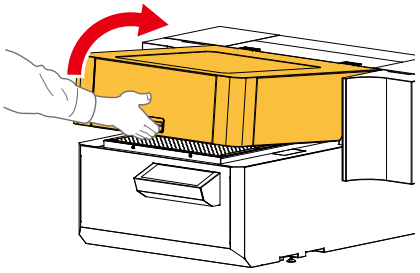
アタッチメント部がスムーズに動くことを確認してください。

Important!

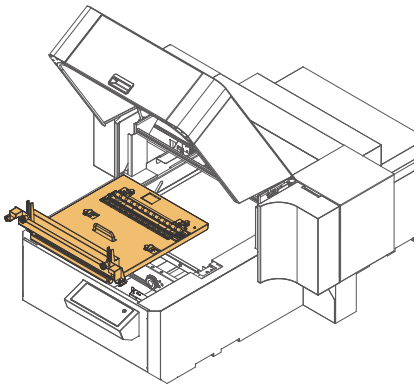
サムスクリューは、半回転以上回して緩めてください。緩め過ぎには注意してください。



3. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。



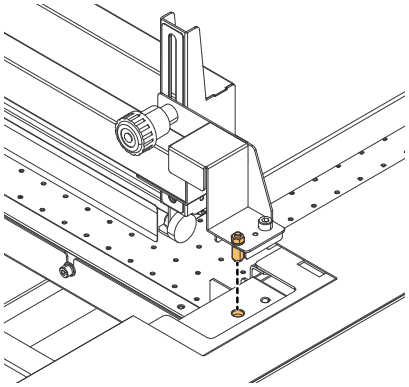
4. プリンターにロータリーユニットを取り付ける。



Important!

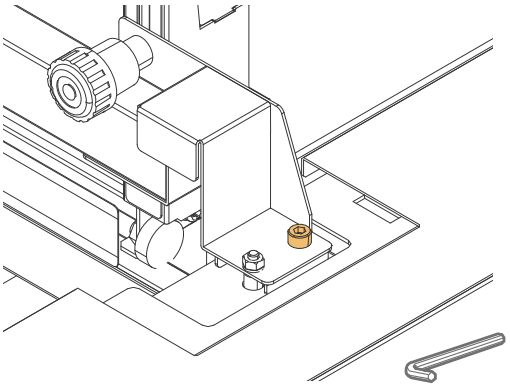
ロータリーユニットを取り付けるときは、プリンター内部にぶつけないように注意してください。
印刷品質の低下につながるおそれがあります。

a. ロータリーユニットの位置決めピンをプリンターの差し込み穴に合わせます。



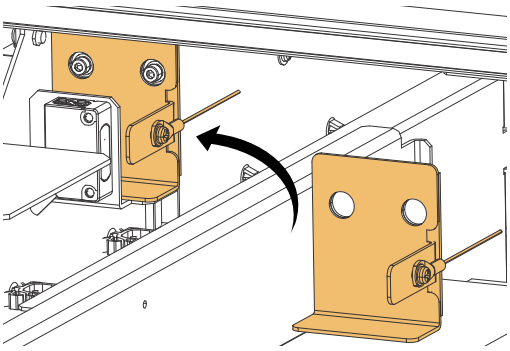
b. 初めに、ユニット右側のネジを付属の六角レンチで締めて固定します。

c. 次に、反対側を同様に固定します。



5. 障害物センサーにユニット検知板を取り付ける（マグネットで貼り付きます）。

ワイヤーがねじれないように取り付けます。



Important!

必ずユニット検知板を取り付けてください。取り付けない場合、次のパネル操作に進めません。

6. フロントカバーを閉じる。

7. **[Enter]** キーをタップする。



8. **[∧] / [∨]** キーで **[トリツケ マシタカ? ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。



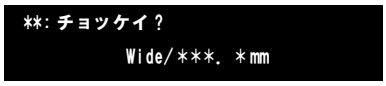
9. **[∧] / [∨]** キーで使用するメディア設定 Type を選び、**[Enter]** キーをタップする。



10. プリンターコントロールパネルに表示された直径値とローラーピッチ設定を確認する。







- 設定を変更する場合は、**[Cancel]** キーをタップします。
- 設定を変更しない場合は、**[Enter]** キーをタップして、手順 12 に進みます。

> **Note**
> 選択したメディア設定 Type の設定値にしたがって、メッセージが表示されます。

11. メディアの直径を入力し、**[Enter]** キーをタップする。



■ 入力した直径が、60.0 mm ～ 80.0 mm の場合

- **[∧] / [∨]** キーでローラーピッチを選択し、**[Enter]** キーをタップします。





> **Note**
> 「Wide」を選択すると、メディア安定性の向上が期待できます。

12. プリンターコントロールパネルに表示されたメッセージにしたがって、ローラーピッチを調整する。

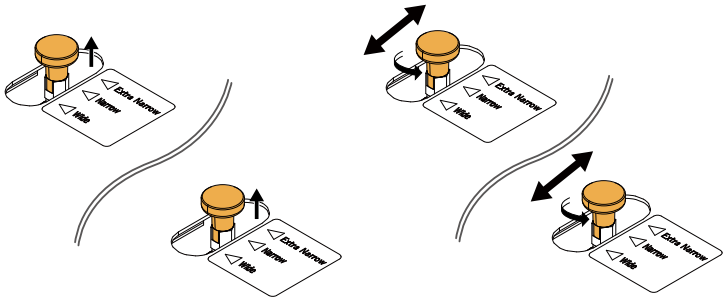
```
ピッチヲ ExNarrow ニアワセテ
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

```
ピッチヲ Narrow ニアワセテ
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

```
ピッチヲ Wide ニアワセテ
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

a. フロントカバーを開けます。

b. ローラーピッチを調整します。



Important!

ローラーピッチを調整するときは、左右の調整ツマミを同時に平行移動させてください。
片方の調整ツマミだけを動かしたり、左右が傾いた状態で動かしたりすると、ローラーピッチが正常に調整できません。

13. フロントカバーを閉じて、[Enter] キーをタップする。

14. [∧] / [∨] キーで [**ローラピッチ ヲ アワセマシタカ? ハイ**] を選び、[Enter] キーをタップする。

```
ローラピッチ ヲ アワセマシタカ？
ハイ
```

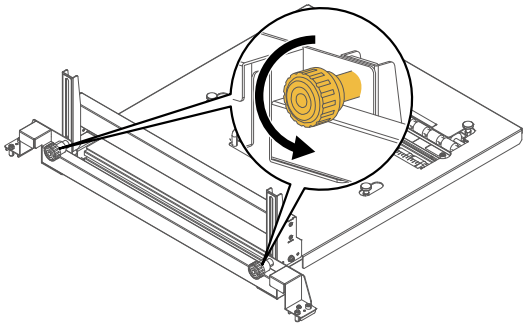
- 次のメッセージが表示されます。

```
サムスクリュー ヲ ユルメテ、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

15. サムスクリューが緩められていることを確認する。

a. フロントカバーを開けます。

b. 左右のサムスクリューが緩められていることを確認できたら、フロントカバーを閉じて、[Enter] キーをタップします。



Note

- サムスクリューは、半回転以上回して緩めてください。緩め過ぎには注意してください。
- 簡略化のため、プリンターのイラストは省略しています。

16. **[∧] / [∨]** キーで **[サムスクリュー ヲ ユルメマシタカ? ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

```
サムスクリュー ヲ ユルメマシタカ？
ハイ
```

a. **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。

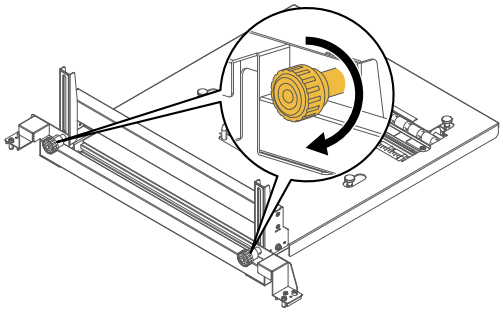
b. 設定した高さにテーブルが移動します。

17. 次のメッセージが表示されたら、フロントカバーを開ける。

```
サムスクリュー ヲ シメテ 、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

18. アタッチメント部がしっかりと固定されるまで、サムスクリューを回転させて、ロックする。

- 左右のサムスクリューが締められていることを確認できたら、フロントカバーを閉じて、**[Enter]** キーをタップします。



Note

- サムスクリューを締め込みすぎると、破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- 簡略化のため、プリンターのイラストは省略しています。

19. **[サムスクリュー ヲ シメマシタカ? ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

```
サムスクリュー ヲ シメマシタカ？
ハイ
```

- ロータリーユニットの取り付け手順を終了します。

```
メディア ヲ セットシテ 、
［∧］キーヲ タップシテクダサイ
```

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズルの目詰まり（線の欠け）があったときは、プリントヘッドのクリーニングを実施してください。

ノズルチェックをする

ノズルの状態を印刷して、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。

ロータリーユニットを取り付けたまま、以下のノズルチェックを実施できます。

ノズルチェックの種類

ノズルチェック L	反原点側のテーブルの印刷範囲外でノズルチェックパターンを印刷します。印刷用メディアをテーブル上にセットしたままでも、ノズルチェックパターンを印刷することができます。

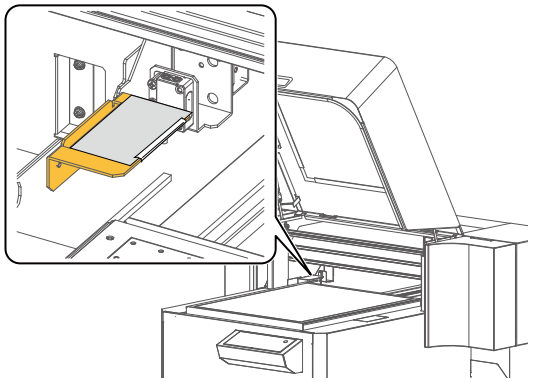
Note

ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明メディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

手順

1. 反原点側のノズルチェック L スペースにメディアをセットする。

- メディアの右端とスペースの右端を合わせてください。
- メディアが浮かないようにマスキングテープ等で固定してください。



Important!

必要メディアサイズ：

- ノズルチェック L: 幅 50 mm x 長さ 55 mm
  厚さ 1.5 mm 以下

小さなメディアを使用すると、印刷結果がはみ出します。テーブル上に付着したインクは UV 光によって硬化し、取り除くことができません。

2. [**インサツデキマス**] または [**メディア ヲ セットシテ** 、[**∧**] キーヲ タップシテクダサイ] 表示中に [**<**] キーをタップする。

3. **[Enter]** キーをタップする。

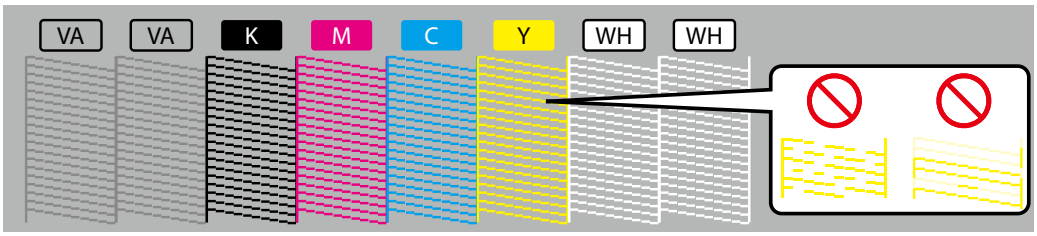


ノズルチェックパターンが印刷されます。

> **Note**
> パネル設定メニューからも、ノズルチェックの種類を選んで実行できます。
> ➔ **取扱説明書「メニュー 3: テスト印刷」**

4. パターンを確認する。

- ノズルの目詰まりがある場合は、「ヘッドクリーニングをする」に進みます。
  ➔ **「ヘッドクリーニングをする」 P.22**
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



> **Note**
> この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。

ヘッドクリーニングをする

ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ノズルチェックの印刷結果によって使い分けてください。

ヘッドクリーニングモード

クリーニング「微量」	10 ノズル程度までの詰まりがある場合に使用します。少量のインクを消費します。
クリーニング「通常」	10 ノズル以上の詰まりがある場合に使用します。
クリーニング「強力」	クリーニング「通常」を実施してもノズルの目詰まりが解消しないときに使用します。クリーニング「通常」より多くのインクを消費します。
クリーニング「微量充てん」	クリーニング「強力」よりかなり高いクリーニング効果がありますが、多くのインクを消費します。

手順

1. **[インサツデキマス]** 表示中に **[＞]** キーをタップする。

2. **[∧]** / **[∨]** キーで実行するクリーニングモードを選び、**[Enter]** キーをタップする。



- クリーニングが始まります。

> **Note**
>
> パネル設定メニューからもヘッドクリーニングを実行できます。
> ➔ **取扱説明書「メニュー 2: メンテナンス」**

3. もう一度ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルの目詰まりがないかどうかを確認する。

➔ 「ノズルチェックをする」P.20

Note

クリーニング「通常」を繰り返してもノズルの目詰まりが解消しない場合は、以下の対処方法を参考にしてください。

1. クリーニング「強力」を 2 ～ 3 回実施してください。（改善しない場合は、次に進んでください）

➔「ヘッドクリーニングをする」P.22

2. 各部の清掃を行ってください。（改善しない場合は、次に進んでください）

➔ **取扱説明書「各部の清掃」**

3. 「微量充てん」を 2~3 回実施してください。（改善しない場合は、次に進んでください）

➔ **取扱説明書「微量充てん」**

4. 「漬け置きクリーニング」を実施してください。

➔ **取扱説明書「漬け置きクリーニング」**

それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。

メディアのセット

印刷設定をする

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. 「メディア設定」メニューにアクセスする。

メニューフロー



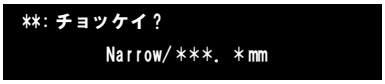
- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

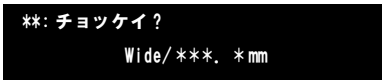
3. **[∧]** / **[∨]** キーで使用するメディア設定 Type を選び、**[Enter]** キーをタップする。



- 現在設定中のメディア設定 Type を選択した場合は、メディア設定メニュー（サイズ）が表示されます。
- 上記以外の場合は、次の手順に進みます。

4. プリンターコントロールパネルに表示された直径値とローラーピッチ設定を確認する。





- 設定を変更する場合は、**[Cancel]** キーをタップし、次の手順に進みます。
- 設定を変更しない場合は、**[Enter]** キーをタップして、手順 6 に進みます。

> **Note**
> 選択したメディア設定 Type の設定値にしたがって、メッセージが表示されます。

5. メディアの直径を入力し、**[Enter]** キーをタップする。



■ **入力した直径が、60.0 mm ～ 80.0 mm の場合**

- **[∧]** / **[∨]** キーでローラーピッチを選択し、**[Enter]** キーをタップします。

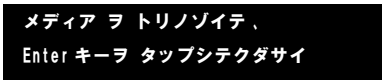




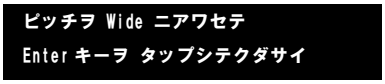
> **Note**
> 「Wide」を選択すると、メディア安定性の向上が期待できます。

- **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。

6. メディアがセットされている場合は、メディアを取り除き、**[Enter]** キーをタップする。



7. プリンターコントロールパネルに表示されたメッセージにしたがって、ローラーピッチを調整する。

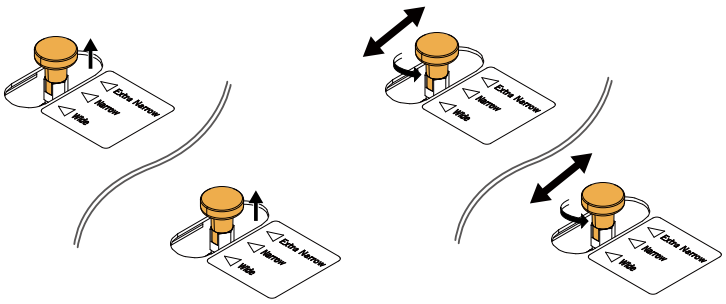






a. フロントカバーを開けます。

b. ローラーピッチを調整します。



Important!

ローラーピッチを調整するときは、左右の調整ツマミを同時に平行移動させてください。
片方の調整ツマミだけを動かしたり、左右が傾いた状態で動かしたりすると、ローラーピッチが正常に調整できません。

8. フロントカバーを閉じて、**[Enter]** キーをタップする。

9. **[∧] / [∨]** キーで **[ローラピッチ ヲ アワセマシタカ? ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

```
ローラピッチ ヲ アワセマシタカ？
ハイ
```

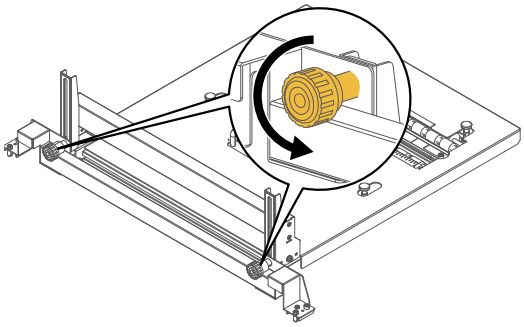
- 次のメッセージが表示されます。

```
サムスクリュー ヲ ユルメテ 、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

10. サムスクリューを回転させて、ロックを解除する。

a. フロントカバーを開けます。

b. 左右のサムスクリューが緩められていることを確認できたら、フロントカバーを閉じて、**[Enter]** キーをタップします。



Note

- サムスクリューは、半回転以上回して緩めてください。緩め過ぎには注意してください。
- 簡略化のため、プリンターのイラストは省略しています。

11. **[∧] / [∨]** キーで **[サムスクリュー ヲ ユルメマシタカ? ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

```
サムスクリュー ヲ ユルメマシタカ？
ハイ
```

a. **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。

b. 設定した高さにテーブルが移動します。

12. 次のメッセージが表示されたら、メディアの取り付け手順に進みます。。

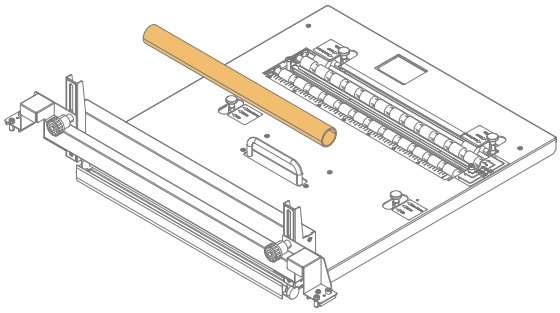
```
メディア ヲ セットシテ 、
［∧］キーヲ タップシテクダサイ
```

メディアをセットする

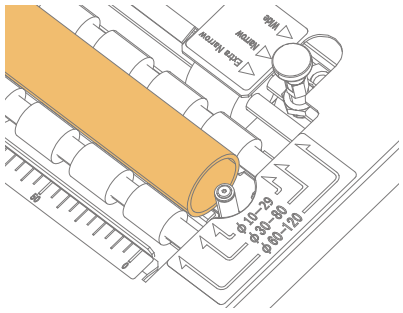
手順

1. フロントカバーを開ける。

2. メディアをロータリーユニットにセットする。



a. メディアは原点ローラーに合わせてセットしてください。



Note

メディアは印刷データの原点に合わせてセットしてください。

➔「ユニットの原点とアプリケーション画面の原点との対応関係について」P.37

Note

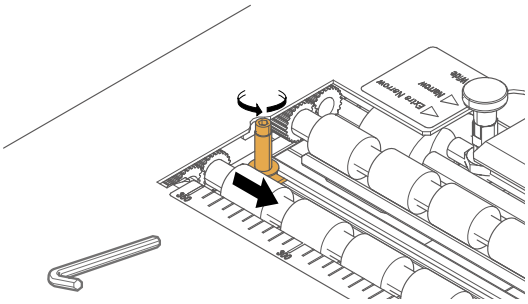
どうしてもメディアが安定しない場合は、メディア押さえを使用してください。

- メディアの形状によって、正しくメディア押さえをセットできない場合があります。
- 軽いメディアの場合、メディアが持ち上がってしまうことがあります。そのような場合は、メディア押さえを使用しないでください。

メディア押さえ調整方法

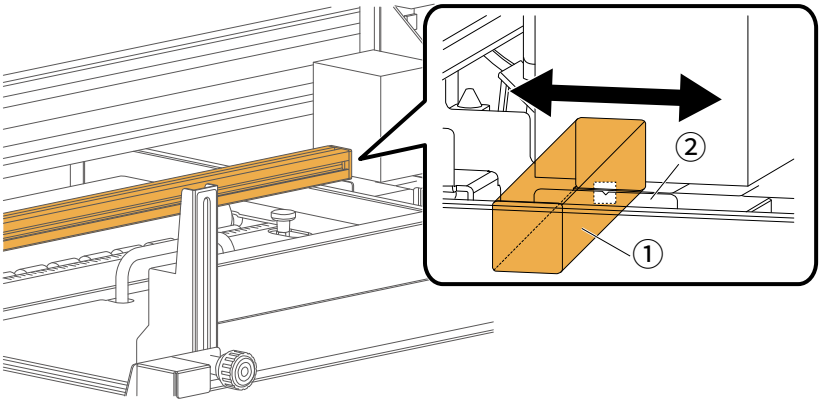
1. 付属の六角レンチ（対辺 3）でメディア押さえを緩めます。
2. メディア押さえをスライドさせて、セットしたメディアに軽く当てつけます。
3. 付属の六角レンチ（対辺 3）でメディア押さえを締めます。

当てつけが強いとメディアが回転しない可能性があるので注意してください。



3. ガイドバーをプリンター本体のガイド板に渡し、以下のことを確認する。

- メディアがガイドバー（①）に接触しないこと
- メディアとガイドバーの距離が開きすぎていないこと



■ **メディア高さ確認方法**

a. ガイドバーをガイド板（②）中央の切り込みに合わせて置きます。

b. ガイドバーを前後にスライドします。

Important!

メディアとガイドバーの距離が適当でない場合は、再度、メディアの直径を計測し、正しい値を入力してください。
そのまま印刷した場合、プリントヘッドの破損や、作画不良の原因となるおそれがあります。

4. フロントカバーを閉じる。

5. [∧] キーをタップする。

```
ﾒﾃﾞｨｱ ｦ ｾｯﾄｼﾃ 、
[∧] ｷｰｦ ﾀｯﾌﾟｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

6. **[Enter]** キーをタップする。



Note

セット確認表示」メニューについて

本メニューは、メディア設定 Type の初回選択時のみ表示されます。

- オン : 毎メディアセット時に、**[∧]** キーをタップした後、以下のメニューの値を入力します。
  -「メディア高さ」-「障害物検出」-「メディア幅」-「メディア長さ」-「原点」
- オフ : 毎メディアセット時に、**[∧]** キーをタップした後、**[インサツデキマス]** と表示されます。上記メニューの設定値は、選択中のメディア設定 Type の値を使用します。
  [オフ] を選択した後でも、**[インサツデキマス]** または **[メディア　ヲ　セットシテ、[∧]** キーをタップシテクダサイ] 表示中に **[Cancel]** キーをタップすると、**[＊＊ : メディアセッテイ 1　セットカクニン]** から、上記メニューの値を入力できます。

メディアの幅と長さ、原点を入力する

手順

1. メディアの幅を入力する。

[∧] / **[∨]** キーでメディアの幅を入力し、**[Enter]** キーをタップする。



Note

設定範囲（幅）: 30 ～ 360 mm

2. メディアの長さを入力する。

[∧] / **[∨]** キーでメディアの長さを入力し、**[Enter]** キーをタップする。



Note

設定範囲（長さ）: 20 ～ 405 mm

3. 印刷開始位置（原点）を設定する。

- **[∧]** / **[∨]** キー : PF（メディア送り）方向
- **[<]** / **[>]** キー : CR（キャリッジ移動）方向



Note

原点は以下の範囲で入力することができます。

- PF: 0.0 ～ 385.0 mm
- CR: 0.0 ～ 340.0 mm

4. [Enter] キーをタップする。

- テーブルが奥に移動します。
- LED ポインターが点灯しながらキャリッジが設定位置に移動します。

5. 移動位置を確認する。

移動位置があっていない場合は、調整してください。

- **[∧]** / **[∨]** キー : PF（メディア送り）方向
- **[<]** / **[>]** キー : CR（キャリッジ移動）方向

6. [Enter] キーをタップして、手順を終了する。

- 以下が表示されます。



メディアセットを終了します。

使用するメディア設定 Type を変更する

異なる直径のメディアに印刷を行う場合、メディア設定 Type（Type1 ～ Type15）を切り替えます。

また、メディア設定 Type を切り替えるときに、選択したメディア設定 Type のメディア直径とローラーピッチの設定を変更することができます。

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. 「メディア設定」メニューにアクセスする。

メニューフロー



- **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
- **[>]** キー : メニューに入ります。

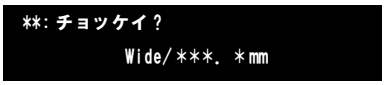
3. **[∧]** / **[∨]** キーで使用するメディア設定 Type を選び、**[Enter]** キーをタップする。



- 現在設定中のメディア設定 Type を選択した場合は、メディア設定メニュー（サイズ）が表示されます。
- 上記以外の場合は、次の手順に進みます。

4. プリンターコントロールパネルに表示された直径値とローラーピッチ設定を確認する。





- 設定を変更する場合は、**[Cancel]** キーをタップします。
- 設定を変更しない場合は、**[Enter]** キーをタップして、手順 6 に進みます。

> **Note**
>
> 選択したメディア設定 Type の設定値にしたがって、メッセージが表示されます。

5. メディアの直径を入力し、**[Enter]** キーをタップする。



■ **入力した直径が、60.0 mm ～ 80.0 mm の場合**

- **[∧]** / **[∨]** キーでローラーピッチを選択し、**[Enter]** キーをタップします。





Note

「Wide」を選択すると、メディア安定性の向上が期待できます。

6. 設定した直径値とローラーピッチ設定がメディア設定 Type に保存されます。

以降の手順は、**「印刷設定をする」 P.24** の手順 6 以降をご参照ください。

基本的な印刷方法

ここでは、純正 RIP ソフトウェア「VerteLith」を使った場合の基本的な印刷設定を説明します。
VerteLith のセットアップおよび詳しい操作方法については、別冊の「VerteLith ユーザーマニュアル」をご参照ください。

手順

1. VerteLith を起動し、使用するプリンターに「XPJ-661UF-P」を選ぶ（①）。

「XPJ-661UF-P」が表示されます（②）。



Note

プリンターの登録方法は、「VerteLith ユーザーマニュアル」をご参照ください。

2. 印刷したい画像ファイルを追加する。

- ホールドタブの **[ジョブ追加]** アイコン（③）をクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示されます。



- ダイアログから追加したい画像ファイルを選択して **[OK]** をクリックすると、ホールドタブ内にジョブが追加されます（④）。複数のファイルも追加できます。



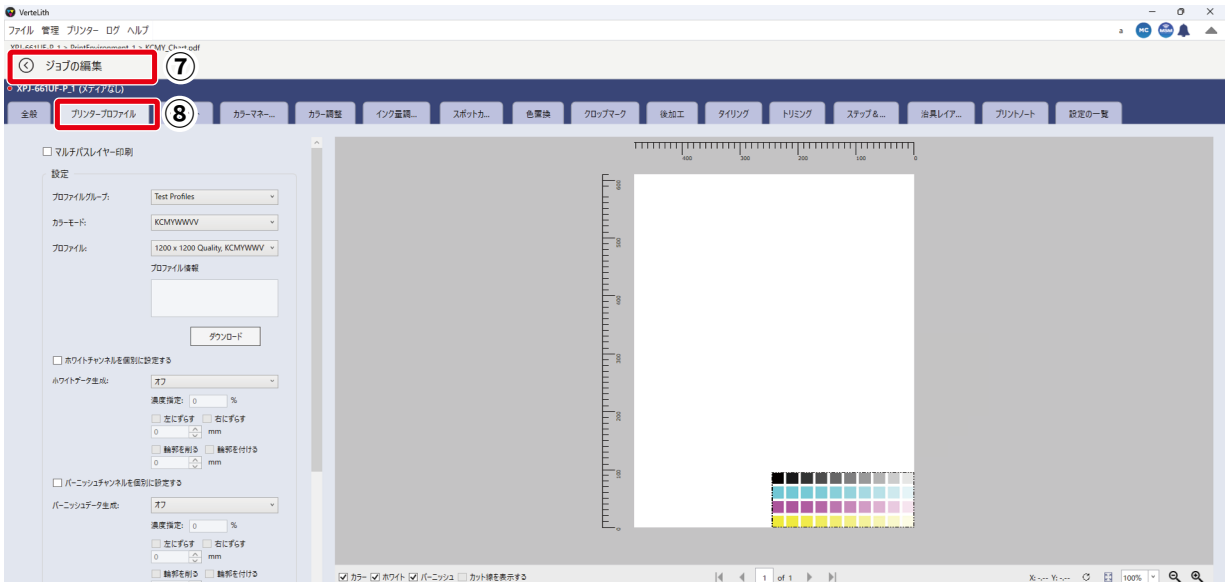
Note

ホールドタブにファイルをドラッグ&ドロップでも追加できます。

3. ジョブを選択して、[**編集**]（⑤）か [**ジョブ編集**]（⑥）をクリックする。

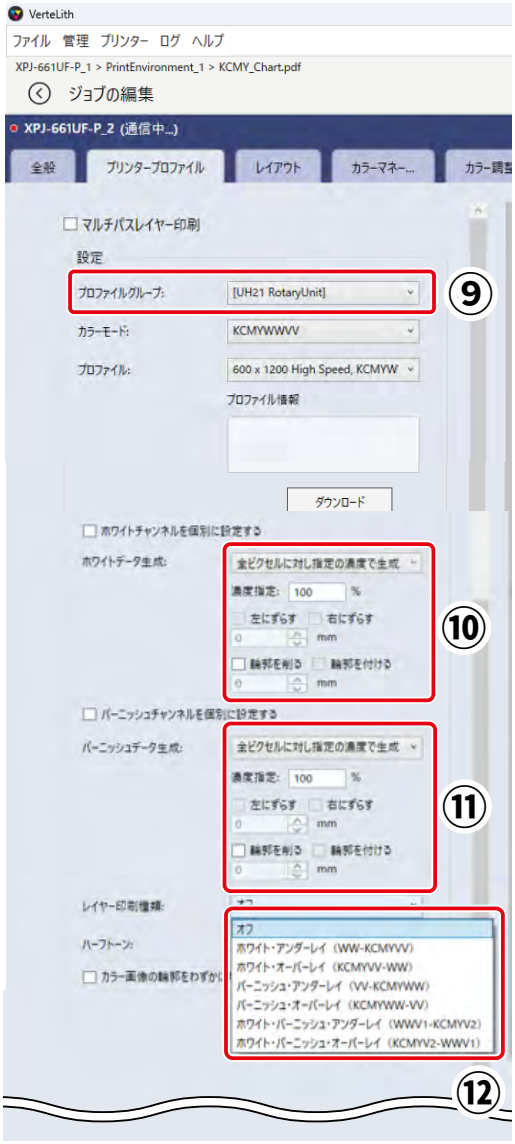


4. [**ジョブの編集**]（⑦）と表示されたら、プリンタープロファイルタブ（⑧）をクリックする。



5. 印刷設定をする。

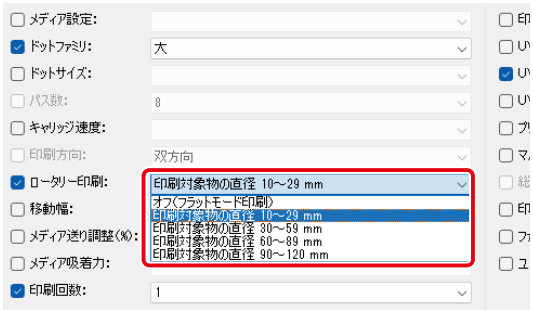
- プロファイルグループ（⑨）
  - **[XXX RotaryUnit]** という名称のプロファイルグループを選択します。**[XXX]** にはインク種が入ります。
- ホワイトデータの生成（⑩）
  - リストからデータの生成方法、濃度、位置補正、輪郭補正を設定します。
- バーニッシュデータの生成（⑪）
  - リストからデータの生成方法、濃度、位置補正、輪郭補正を設定します。
- レイヤー印刷種類の選択（⑫）
  - 用途に合わせて重ね順を設定します。「オーバーレイ」「アンダーレイ」のいずれかを選択できます



> **Note**
>
> **レイヤー印刷の詳細については、別冊の「印刷ガイド」をご参照ください。**

- ロータリー印刷
  - プリンターオプション（⑬）をクリックして、**[ロータリー印刷]** から印刷対象物の直径を選択します。





6. [プリンターへ送信]（⑭）をクリックする。

- ジョブは印刷タブに移動します。RIP 処理に続いて印刷を開始します。



- 送信中は、ジョブのステータス（送信中、RIP 処理待ち、RIP 処理中、印刷待ち）が表示されます（⑮）。

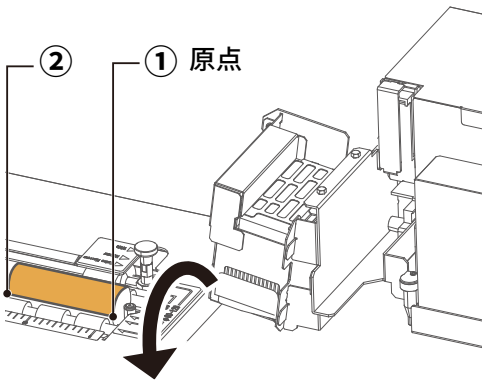


- 印刷終了後、ホールドタブに再びジョブが表示されます（⑯）。

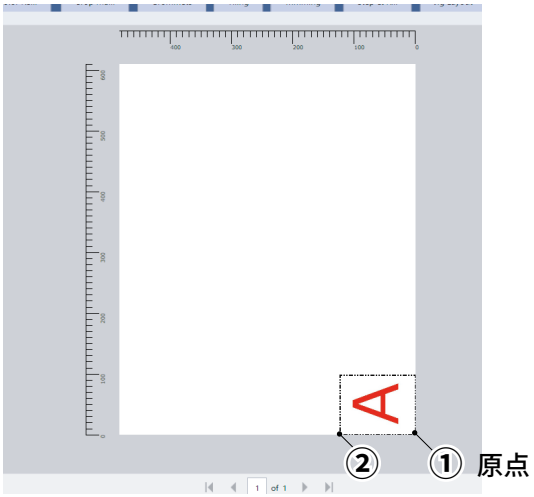


ユニットの原点とアプリケーション画面の原点との対応関係について

ユニットの原点とアプリケーション画面の原点の対応関係は以下の通りです。
データを作成するときやメディアをセットするときはご注意ください。



ユニットの原点
（イラストは印刷中のイメージです）



VerteLith の画面の原点

ロータリーユニットの取り外し

ロータリーモードを終了する

手順

1. **[Home]** キーをタップする。

2. 「ロータリーユニット」メニューにアクセスする。

   メニューフロー

   - **[∧]** / **[∨]** キー : メニューを選びます。
   - **[>]** キー : メニューに入ります。

3. **[>]** キーをタップする。

4. **[∧]** / **[∨]** キーで、**[ロータリーユニット　トリハズシ ー> Enter]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

5. **[∧]** / **[∨]** キーで **[カイシ シマスカ？　ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

   - シバラクオマチクダサイ] と表示されます。

6. **[メディア ヲ トリノゾイテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、メディアと治具を取り外し、**[Enter]** キーをタップする。

   - **[シバラクオマチクダサイ]** と表示されます。
   - テーブルがロータリーユニット取り付け位置に移動します。

7. **[ロータリーユニット ヲ トリハズシテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、ロータリーユニットをプリンターから取り外す。

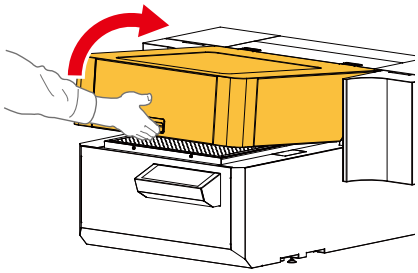
   

ロータリーユニットを取り外す

この手順ではプラスドライバーを使用します。市販のドライバーをご用意ください。

手順

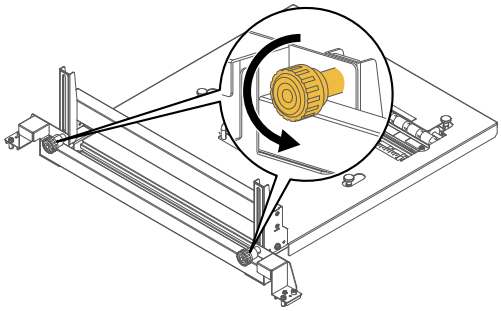
1. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。



2. サムスクリューを回転させて、ロックを解除する。

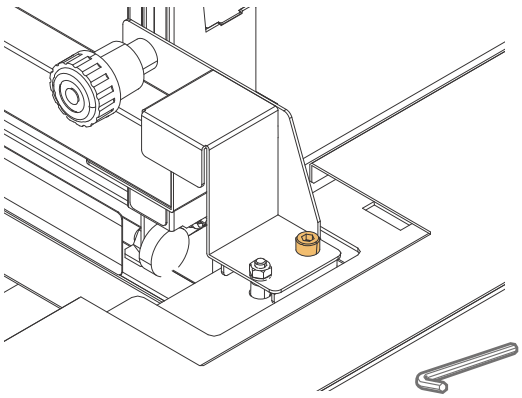
Important!

- サムスクリューは、半回転以上回して緩めてください。緩め過ぎには注意してください。
- 簡略化のため、プリンターのイラストは省略しています。



3. 付属の六角レンチでネジを緩める。

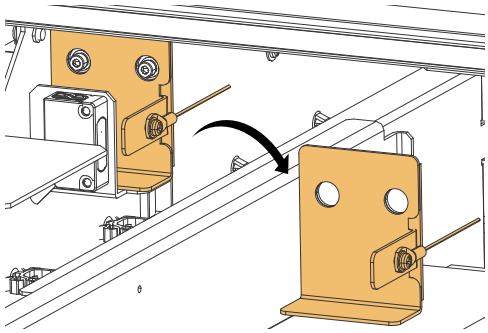
反対側も同様に緩めます。



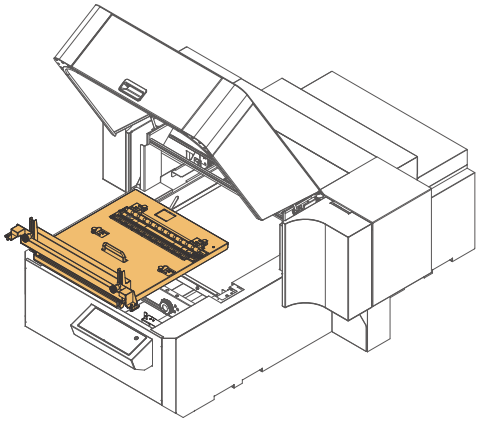
4. 障害物センサーからユニット検知板を取り外す。

Important!

必ずユニット検知板を取り外してください。取り外さない場合、次のパネル操作に進めません。

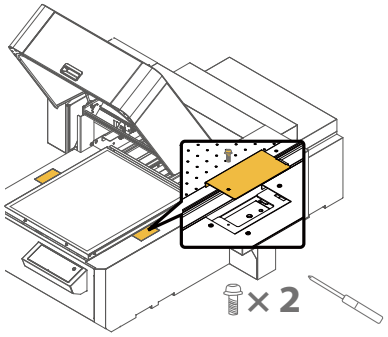


5. プリンターからロータリーユニットを取り外す。



6. プリンターのアタッチメントカバー（2 個）を取り付ける。

プラスドライバーでネジを締めます。



7. フロントカバーを閉じる。

8. **[Enter]** キーをタップする。

```
ロータリーユニット ヲ トリハズシテ、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

9. **[∧] / [∨]** キーで、**[トリハズシ マシタカ？　ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

```
トリハズシ マシタカ？
                    ハイ
```

- **[イニシャルチュウ]** と表示されます。
- ロータリーユニットの取り外し手順を終了します。

```
メディア ヲ セットシテ 、
［∧］キーヲ タップシテクダサイ
```

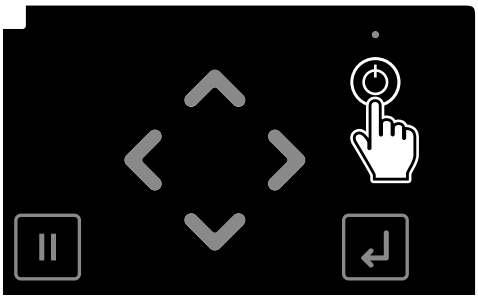
電源をオフしたときの復帰作業

再起動が必要なエラーが発生し、電源のオフが必要な場合や、やむを得ず電源をオフした場合は、以下の手順に従って復帰作業を行ってください。

ロータリーモードは電源をオフにすると自動的に終了します。

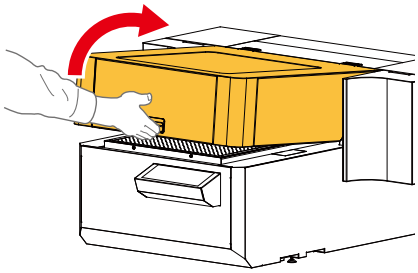
手順

1. 電源ボタンを押して、本製品を再起動する。
   - **[イニシャルチュウ]** と表示されます。



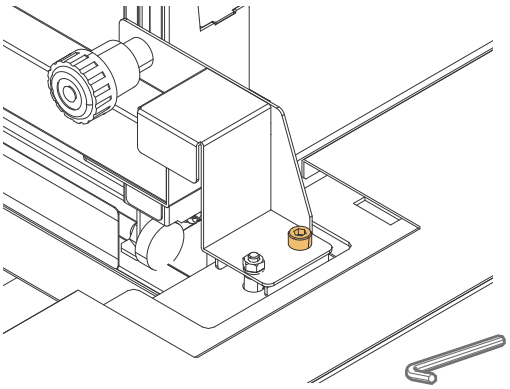
2. **[ロータリーユニット ヲ トリハズシテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ]** と表示されたら、ロータリーユニットをプリンターから取り外す。

3. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。

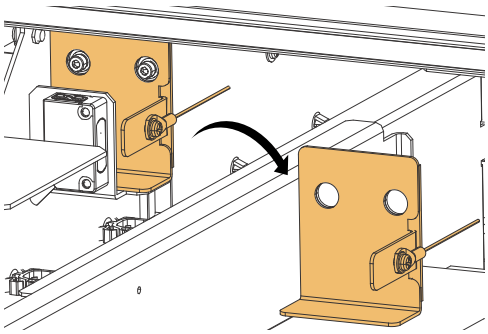


4. 付属の六角レンチでネジを緩める。

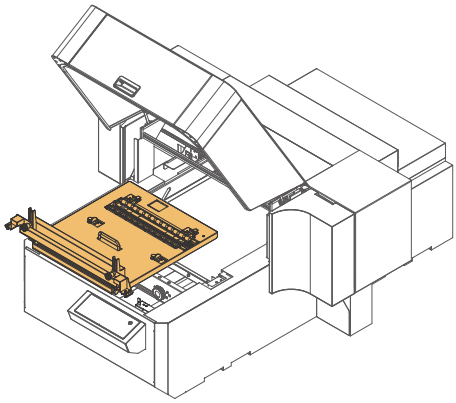
   反対側も同様にネジを緩めます。



5. 障害物センサーからユニット検知板を取り外す。



6. プリンターからロータリーユニットを取り外す。



7. フロントカバーを閉じる。

8. **[Enter]** キーをタップする。

```
ロータリーユニット ヲ トリハズシテ、
Enter キーヲ タップシテクダサイ
```

9. **[∧] / [∨]** キーで、**[トリハズシマシタカ？ハイ]** を選び、**[Enter]** キーをタップする。

```
トリハズシ マシタカ？
                    ハイ
```

- **[イニシャルチュウ]** と表示されます。
- ロータリーユニットの取り外し手順を終了します。

```
メディア ヲ セットシテ 、
［∧］キーヲ タップシテクダサイ
```

> **Note**
>
> ロータリーユニットを使って印刷を行う場合は、プリンターをロータリーモードにします。
>
> ➔「プリンターをロータリーモードにする」P.11

メンテナンス

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。

メンテナンスには次のようなものがあります。

- ロータリーユニットのメンテナンス：ローラーゴムの清掃、ユニット表面の清掃
  ➔ 「ロータリーユニットのメンテナンス」P.44
- プリンターのメンテナンス：プリントヘッドの清掃などのデイリーメンテナンス
  ➔ 「プリンターのメンテナンス」P.46

ロータリーユニットのメンテナンス

印刷作業終了後に、以下の場所の清掃を行ってください。

- ローラーゴム
- ロータリーユニットの表面、操作説明ラベル

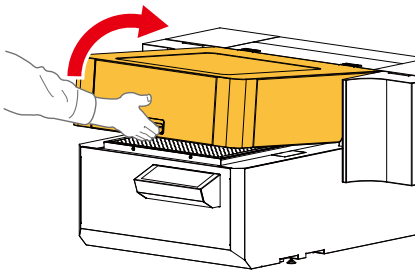
> **Note**
> 付着したインクが硬化している場合は、清掃を行っても取り除けないことがあります。

必要なもの：

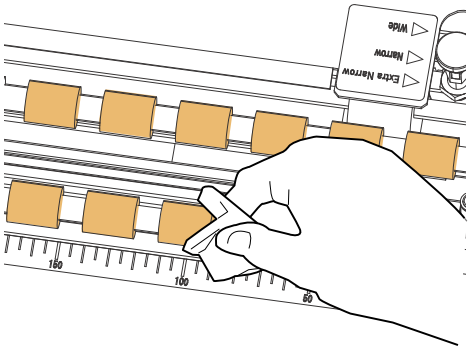
- 柔らかい布
- 中性洗剤（適宜）

手順

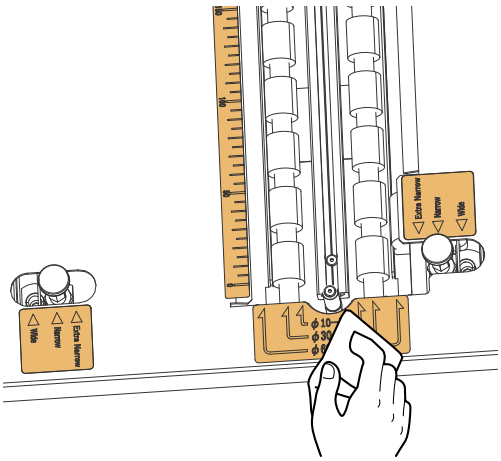
1. フロントカバーを図の位置で持ち、ゆっくりと開ける。



2. 水、または中性洗剤を水で希釈したものを含ませてよく絞った柔らかい布で、ローラーゴムの汚れを取ります。



3. ロータリーユニットの表面、操作説明ラベルの汚れを取ります。



プリンターのメンテナンス

本製品は電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。ロータリーユニットをセットしたまま、スリープモードにすることができます。

スリープモードにしないと本体内部のインクが沈降・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- プリンター内にあるインクの一部を循環する

スリープモード中は、電源ボタン上部の LED が 5 秒おきに点滅し、**[Enter]** キー以外の操作は無効になります。

Important!

スリープモードを 7 日間以上継続する場合は、7 日間が経過した時点で下記を行ってください。

- スリープモード中はインクの残量を確認し、**[インクスクナイ]** が表示されていたらインクを交換してください。
  ➔ **取扱説明書「インクの確認と交換」**
- インクをかくはんしてください。
  ➔ **取扱説明書「インクをかくはんする」**

Important!

- 前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過すると、コントロールパネルに **[デイリーメンテナンス シテクダサイ]** と表示されます。必ずメンテナンスを実施してください。
- スリープモードにせず1日中印刷をする場合でも、1日に1回、必ずデイリーメンテナンスを実施してください。メンテナンスが不十分だと、画質不良や故障の原因となります。スリープモードにしない、または電源をオフにしない場合のデイリーメンテナンス手順は、「各部の清掃」をご参照ください。
  ➔ **取扱説明書「各部の清掃」**

スリープモードを開始する

スリープモードにするときは、プリンターコントロールパネルの指示に従って、必ずデイリーメンテナンスを実施してください。手順については、「デイリーメンテナンスシート」または取扱説明書をご参照ください。

メッセージとエラーメッセージ

ここでは、表示されるメッセージと対処方法について説明します。

動作状態表示

本製品が正常に動作している場合、プリンターコントロールパネルには以下の各動作状態が表示されます。

その他のメッセージにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。

表示	内容
ロータリーユニット ヲ トリツケテ、 Enter キーヲ タップシテクダサイ	ロータリーユニットの取り付けを行ってください。 取り付けを終えたら、**[Enter]** キーをタップしてください。
トリツケ マシタカ？ イイエ	ロータリーユニットの取り付けを確認します。 **[∨]** キーをタップしてください。
トリツケ マシタカ？ ハイ	ロータリーユニットの取り付けを確認します。**[Enter]** キーをタップしてください。
サムスクリュー ヲ ユルメテ、 Enter キーヲ タップシテクダサイ	テーブルが移動します。 サムスクリューを緩め、**[Enter]** キーをタップしてください。
サムスクリュー ヲ ユルメマシタカ？ イイエ	ロータリーユニットのサムスクリューを緩めたことを確認し、**[∨]** キーをタップしてください。
サムスクリュー ヲ ユルメマシタカ？ ハイ	ロータリーユニットのサムスクリューを緩めたことを確認し、**[Enter]** キーをタップしてください。
＊＊：チョッケイ？ セマイ／＊＊＊．＊㎜	ユーザ定義を切り替えます。直径とローラーピッチを確認してください。 ➔「使用するメディア設定 Type を変更する」P.31
ピッチヲ Wide ニアワセテ Enter キーヲ タップシテクダサイ	ローラーピッチを **[Wide]** に合わせてください。
ピッチヲ Narrow ニアワセテ Enter キーヲ タップシテクダサイ	ローラーピッチを **[Narrow]** に合わせてください。
ローラピッチ ヲ アワセマシタカ？ イイエ	ローラーピッチを変更したことを確認し、**[∨]** キーをタップしてください。
ローラピッチ ヲ アワセマシタカ？ ハイ	ローラーピッチを変更したことを確認し、**[Enter]** キーをタップしてください。
サムスクリュー ヲ シメテ、 Enter キーヲ タップシテクダサイ	テーブルが移動します。 サムスクリューを締め、**[Enter]** キーをタップしてください。
サムスクリュー ヲ シメマシタカ？ イイエ	サムスクリューを締めたことを確認し、**[∨]** キーをタップしてください。
サムスクリュー ヲ シメマシタカ？ ハイ	サムスクリューを締めたことを確認し、**[Enter]** キーをタップしてください。
メディア ヲ セットシテ、 [∧] キーヲ タップシテクダサイ	新しいメディアを取り付け、**[∧]** キーをタップしてください。

ロータリーユニット ヲ トリハズシテ、 Enter キーヲ タップシテクダサイ	ロータリーユニットの取り外しを行ってください。 取り外しを終えたら、**[Enter]** キーをタップしてください。 ➔「電源をオフしたときの復帰作業」 P.41
トリハズシ マシタカ？ イイエ	ロータリーユニットの取り外しを確認します。**[∨]** キーをタップしてください。
トリハズシ マシタカ？ ハイ	ロータリーユニットの取り外しを確認します。**[Enter]** キーをタップしてください。

メッセージ型エラー表示と対処方法

メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。

その他のメッセージにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。

表示	内容
ロータリーユニット カクニン	• ロータリーユニットの取り付け作業を行っているとき： ユニットが正確に取り付けられていません。以下の手順を参考に、ユニットの取り付けを行ってください。 ➔「ロータリーユニットの取り付け」P.11 • ロータリーユニットを取り外し作業を行っているとき： ユニットが正確に取り外されていません。以下の手順を参考に、ユニットの取り外しを行ってください。 ➔「ロータリーユニットの取り外し」P.38

トラブルシューティング

ユニット取り付け時のトラブル

症状	要因と対策
ユニットの取り付けができない	**プリンターコントロールパネルで「ロータリーユニット」を選択して取り付けをしていますか?** プリンターコントロールパネルで **[オプション]** ― **[オプション 1　ロータリーユニット]** を選択し、手順に従ってユニットを取り付けてください。 ➔「プリンターをロータリーモードにする」P.11
	ユニットの左右の位置決めピンが、プリンターの差し込み穴に合っていますか? 左右のピンを差し込み穴に合わせて、ユニットを取り付けてください。 ➔「プリンターに取り付ける」P.14
	ユニットが変形や破損したり、部品が外れていたりしませんか? 変形や破損、部品の欠品がある場合は、ユニットの使用ができません。カスタマーサポートまでご連絡ください。
ユニットの取り付け手順が進まない	**ユニット検知板をプリンターの障害物センサーに取り付けていますか?** ユニット検知板が障害物センサーに取り付けられていないと、次の手順に進めません。 ➔「プリンターに取り付ける」P.14

メディアセット時のトラブル

症状	要因と対策
メディアが不安定、グラグラする	**まっすぐな円筒形状のメディアを使用していますか?** 円錐状、太鼓状、鼓 (つづみ) 状などのメディアを使用していないか確認してください。 例：平らなテーブル上で安定してまっすぐに転がるかどうか確認する。
	メディアの表面に突起状のものはありませんか? 突起状のものが小さい場合、ローラーのゴム部を避けてセットすることでメディアを安定させることができます。 突起部が印刷範囲外になるようにセットしてください。印刷範囲内に突起物がある場合、ヘッドと衝突してヘッドが破損する原因となるおそれがあります。
	メディア重量が軽すぎたり、メディアの長さが短すぎたりしていませんか? 極端に軽い、または長さが短いメディアのご使用はお控えください。 ➔「使用できるメディアの条件」P.8

症状	要因と対策
メディア押さえがうまく使えない	**メディア押さえで固定できない形状、長さ、重量のメディアを使用していませんか？** メディアの形状によって、メディア押さえで固定できない場合があります。 メディアの重量が軽すぎると、メディア押さえの力で浮き上がり、固定できない場合があります。 ➔「メディアをセットする」P.27
ガイドバーとメディアが接触する	**入力したメディア直径は正しいですか？** メディアの直径を計測するときは、一箇所だけではなく数箇所を計測して、平均の値を目安に入力をおこなうことをおすすめします。
	実際のメディア直径よりも小さい値を入力していませんか？ ガイドバーと接触している量と同じくらいの値を足して、少し大きい値を再入力してください。
ガイドバーとメディアの隙間が大きい	**入力したメディア直径は正しいですか？** メディアの直径を計測するときは、一箇所だけではなく数箇所を計測して、平均の値を目安に入力をおこなうことをおすすめします。
	実際のメディア直径よりも大きい値を入力していませんか？ ガイドバーとメディアの隙間の量と同じくらいの値を引いて、少し小さい値を再入力してください。
直径を再入力しても高さが合わない	**ローラーピッチの位置がラベル表示（せまい / ひろい）の位置に合っていますか？** 2 本のローラーを同じラベル表示（せまい / ひろい）の位置に合わせてください。 ➔「メディアをセットする」P.27
	ユニットのローラーピッチ設定と、パネルで選択したローラーピッチ設定が合っていますか？ 両方のローラーピッチ設定が一致しないと正しくメディアのセットができません。 ➔「メディアをセットする」P.27
	メディア高さを確認するときにガイドバーを置く位置は正しいですか？ プリンター本体のガイド板にガイドバーを置いて確認してください。 ➔「メディアをセットする」P.27

動作に関するトラブル

症状	要因と対策
印刷中に異音がする	**メディアがぐらついたりせずに安定した状態でセットされていますか？** メディアが安定するようにセットをし直してください。 ➔「メディアをセットする」P.27
	メディア表面に異物などが付着していませんか？ メディア表面をきれいにしてからセットしてください。表面に異物などが付着していると、正しい印刷結果が得られない場合があります。
	メディアを載せているゴムローラー表面に、硬化したインクや異物などが付着していませんか？ ゴムローラー表面をきれいにしてからメディアをセットしてください。表面に異物などが付着していると、正しい印刷結果が得られない場合があります。 ➔「ロータリーユニットのメンテナンス」P.44 インクが硬化して取り除けない場合は、ユニットの使用をお控えください。カスタマーサポートまでご連絡ください。
	ユニット可動部（ローラー、ベルト、ベアリングなど）が破損していませんか？ 破損している場合は、ただちに使用を中止し、カスタマーサポートまでご連絡ください。
ローラーピッチが変更できない	**ローラーピッチ調整ツマミが破損していませんか？** 破損している場合は、カスタマーサポートまでご連絡ください。
	ローラーピッチ調整ツマミを引き上げた後、90°回転させてから動かしていますか？ 調整ツマミのロックが解除された状態でローラーピッチを変更してください。
	左右のローラーピッチ調整ツマミを同時に平行移動させていますか？ 片方の調整ツマミだけを動かしたり、左右が傾いた状態で動かしたりすると、ローラーピッチが正常に調整できません。 プリンターに取り付けた状態でうまく調整できない場合は、いったんプリンターから取り外して調整してください。
テーブル高さ変更時に異音、振動が発生する **Important!** 異音が発生した場合は、ユニットを取り外して、プリンターの再起動を行ってください (ただし、エラーメッセージは表示されません)。 ➔「電源をオフしたときの復帰作業」P.41	**パネルに表示されるメッセージに従ってサムスクリューの操作（緩める / 締める）を行っていますか？** メッセージに従ってサムスクリューの操作を行ってください。 サムスクリューを操作せずにテーブルが昇降すると、ユニットの破損の原因となるおそれがあります。
	サムスクリューを緩めるときに、半回転以上緩めていますか？ サムスクリューは半回転以上緩め、アタッチメント部がスムーズに動くことを確認してください。
	セットしているメディアの重量を確認しましたか？ 対応できるメディア重量は、1.0 kg までです。

印刷に関するトラブル

症状	要因と対策
正しい印刷結果が得られない（色ムラ、にじみ、かすれが発生する）	**まっすぐな円筒形状のメディアを使用していますか？** 円錐状、太鼓状、鼓 (つづみ) 状などのメディアを使用していないか確認してください。 例：平らなテーブル上で安定してまっすぐに転がるかどうか確認する。
	メディアにラベルなどが貼られていませんか？ ラベルをはがしてから印刷をしてください。
	メディア重量が軽すぎたり、メディアの長さが短すぎたりしていませんか？ 極端に軽い、または長さが短いメディアのご使用はお控えください。 ➔「使用できるメディアの条件」P.8
	メディア押さえを使用していませんか？ メディア押さえは、メディアを押さえる必要がある場合の使用をおすすめします。メディア押さえを使用せずに印刷ができるか確認してください。 ➔「メディアをセットする」P.27
	ノズルの状態は良好ですか？ • ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ➔「ノズルチェックとクリーニング」P.20
	インクカートリッジは有効期限内ですか？ 有効期限内のインクカートリッジを使用してください。
	インクのかくはんを行いましたか？ パネル表示にメッセージが表示されたら、インクをかくはんしてください。
	日ごろからデイリーメンテナンスを適切に行っていますか？ 取扱説明書の内容に従って、デイリーメンテナンスを行ってください。 ➔「プリンターのメンテナンス」P.46
印刷結果の色がおかしい	**ノズルの状態は良好ですか？** ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ➔「ノズルチェックとクリーニング」P.20
	インクのかくはんを行いましたか？ パネル表示にメッセージが表示されたら、インクをかくはんしてください。

ヘッドクリーニングを行っても、ノズルの目詰まりがなおらない	**クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか？** • 再度ヘッドクリーニングまたは微量充てんを行い、印刷結果を確認してください。 • デイリーメンテナンスを行い、印刷結果を確認してください。 それでも印刷結果に変化が無い場合は、カスタマーサポートまでご連絡ください。 • UV 光を表面で反射する鏡のようなメディアや、UV 光を内部で反射しやすい透過性のあるメディアは、プリントヘッド表面のインクを硬化させるため、使用しないでください。
指定したサイズと異なるサイズで印刷される（拡大、縮小、縦伸び、横伸び）	**アプリケーションのメディア設定が「ロータリーユニット」以外になっていませんか？** メディア設定が「ロータリーユニット」になっていることを確認してください。 ➔「基本的な印刷方法」P.33
	RIP から印刷を行っていませんか？ 600 × 1200 dpi、L ドット、エフェクトレベルを Rotay Unit 以外のデータは正常に印刷されません。 ➔「基本的な印刷方法」P.33

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	ファームウェア備考
2026.9	00	ROTAUT61PJ-A-00	V.1.00
2026.10	01	ROTAUT61PJ-A-01	V.1.01 以降

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

- TEL: 0120-174911
- FAX: 0120-184711
- E-mail: gsup@mutoh.co.jp

営業日 : 月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
受付時間 : 午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MUTOH